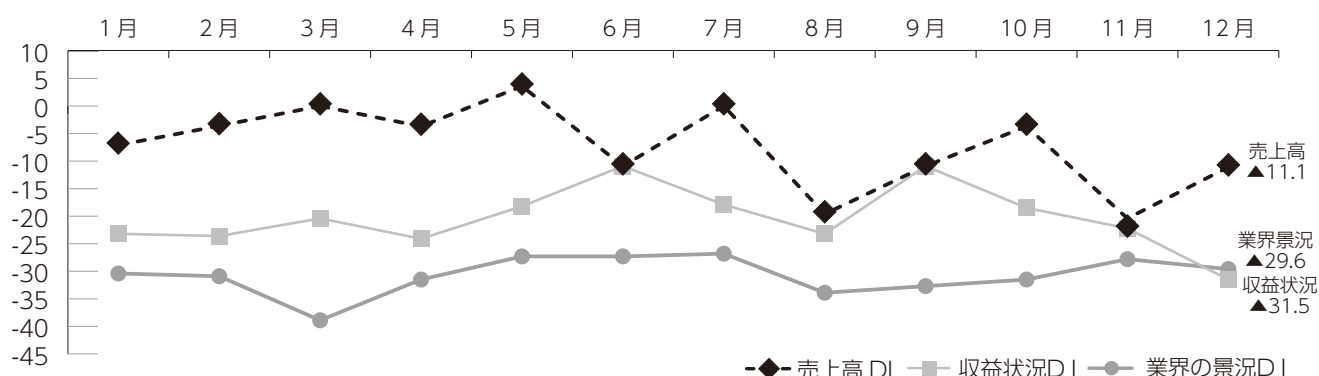


## 外部環境の厳しさ続く中、 年末需要は業種間で明暗分かれる

### 概況

製造業では、原材料価格や輸送コストの上昇に加え、取引先企業の倒産による影響など、外部環境の厳しさが目立つ。非製造業では、生花や商店街、温泉旅館が年末需要やイベントで賑わいを見せた一方、運輸業では年末特有の繁忙感が見当たらないといった声が聞こえた。

### 主要 DI の推移 (全体)



### 景況天気図 (前年同月比)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均									
製造業	食料品								
	繊維製品								
	窯業・土石								
	機械・金属								
	その他								
非製造業	卸売業						—		
	小売業						—		
	商店街						—		
	サービス業		—				—		
	建設業		—				—		
	運輸業		—				—		

減少悪化 ← → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI 値を基に判断したものです。  
DI 値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

食 料 品	<p><b>【菓子】</b> もち米の高騰で値段を上げたため、餅の注文が減少した。</p> <p><b>【製麺】</b> 荷動きは例年並みも組合員の中で好不調の差が顕著に現れている。</p> <p><b>【酒造】</b> 売上数量について、純米酒は好調だったが、全体的には前年を下回った。</p>
織 維 製 品	<p><b>【繊維(桐生)】</b> 合成繊維製品(ゆかた関連)は、来夏の新商品の生産時期だが生産量の増加は期待できず。広幅(婦人服地)関連は、大手アパレルの倒産があり今後の産地への影響を懸念。</p> <p><b>【繊維(伊勢崎)】</b> 広巾織物(インテリア分野)では、11月に東京開催の展示会に出展し、その効果が徐々に始めていることを実感している。</p>
窯業・土石	<p><b>【コンクリートブロック】</b> 住宅資材高騰の影響から、外構予算の縮小と最低限での使用に変化している。また、採用製品も安価な製品に需要が集中している。</p> <p><b>【生コンクリート】</b> 出荷量について、中央地区ははじめ多くの地区で減少したが、出荷量の多くを占める東毛地区や西毛地区、藤岡地区で大幅に増加したため、全体では増加となった。</p> <p><b>【碎石】</b> 売上高は、西毛地区では販売価格の上昇に伴い若干の増加となったが、吾妻地区は不変、他の3地区は減少。一部の地域を除き全般的に碎石を使用する工事や公共事業が減少。</p>
機械・金属	<p><b>【めっき】</b> 追加利上げによる利払い増加を懸念。</p> <p><b>【機械金属(高崎)】</b> 中小の業況は厳しい。営業力強化により受注確保に努めている組合員も多くあり、業績を落とすことのないよう努めている。</p> <p><b>【医用関連】</b> 米国への輸出コストの増加が売価に影響しているためシェアが伸びていない。サプライチェーンの見直しや、材料価格抑制など中小受託事業者への影響を懸念している。</p>
そ の 他	<p><b>【家具】</b> 市場環境は厳しい状況が続いており、全体的な改善には時間がかかるとされる。</p> <p><b>【印刷】</b> 賃上げは影響が大きく、人手不足と連動し人が集まりにくくなっている。</p> <p><b>【製材】</b> 設備の修繕終了の見込みが立ち、生産も多少増加。採用を強化し、人員補充したいが、なかなか採用に至らず。引き続き人材の確保に力を入れる。</p>

### 《非製造業》

卸 売 業	<p><b>【再生資源】</b> 鉄屑について、価格は上昇傾向であるが、発生量は低調。非鉄屑の中に上昇が顕著なものがあり、あまりの高値に今後の盗難を懸念している。古紙について、価格と発生量はともに横ばいで推移。活字離れから今後の発生量の増加は期待薄。</p>
小 売 業	<p><b>【石油】</b> 補助金増額に伴う価格低下や買い控えで売上高は減少。前半は在庫損が発生したが、後半は仕入値下落に対し販売価格が据置で推移したため利幅が改善。灯油の販売不振があったものの、最終的な月間収益は前年並みを確保した。</p> <p><b>【生花】</b> 花の需要は、月の前半、中盤ではかなり落ち込んでいたが、クリスマス・正月需要は例年並みとなった。気温低下により供給がタイトになる状況もみられた。</p>
商 店 街	<p><b>【前橋市】</b> クリスマスマルシェ、歳末大感謝祭を開催し、多くの人で賑わった。チェーン店のイベントとの共同開催や、人気店の出店が人出の確保に繋がった。</p> <p><b>【高崎市】</b> クリスマスマーケットや忘年会シーズンであり、夜は駅前を中心に飲食店は非常に賑わった。物販に関しては、例年通り大きな変化はみられなかった。</p> <p><b>【藤岡市】</b> 暖冬傾向が続いた影響からか、季節商品の動きが鈍かった。</p>
サービス業	<p><b>【草津温泉】</b> 宿泊人数は横ばい。売上について、物価高騰に対応するため宿泊単価などを引き上げており、増加傾向。インバウンドが全体的にみると微減。</p> <p><b>【美容】</b> 昨年並の売上高だが、人件費などの諸経費の増加から収益は悪化している。物価高騰の影響からホームカラーが多くなっており、美容室の利用回数が減少している。</p> <p><b>【不動産取引】</b> マンション建設がみられるが、工事遅延や金利上昇の影響を懸念している。</p>
建 設 業	<p><b>【建設】</b> 掘削工事などで発生する残土の処分場所に苦慮しており、発注者で処分場を指定してほしいとする声があった。また、年度末に完成期日が集中するため、人員確保など経営負担が増加しており、年度末完成にこだわらない柔軟な工期設定を希望する組合員が多い。</p> <p><b>【とび工事】</b> 3月の最低賃金改定に向け、単価の引上げをしていきたいが、今後の資金繰りを考慮する必要があるため、難しい。</p> <p><b>【鉄骨工事】</b> かつてない建設コストの高騰で計画案件の中止、規模の縮小、順延が相次ぎ、需要低迷の長期化が顕著となっている。</p> <p><b>【砂利採取】</b> 輸送を担うダンプは依然として不足しており、支障をきたしている。修理代、部品代が高止まりしており、生産コストを押し上げている。</p>
運 輸 業	<p><b>【一般貨物運送】</b> 年末特有の繁忙感は乏しく、荷動きは低調。特に、中国向け輸出の製品や自動車部品関連の製品が減少している。燃料価格の値下がりで収益状況が改善されるのではないかと期待している。</p> <p><b>【貨物軽自動車運送】</b> 年末にもかかわらず以前のような慌ただしさが全くない。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。